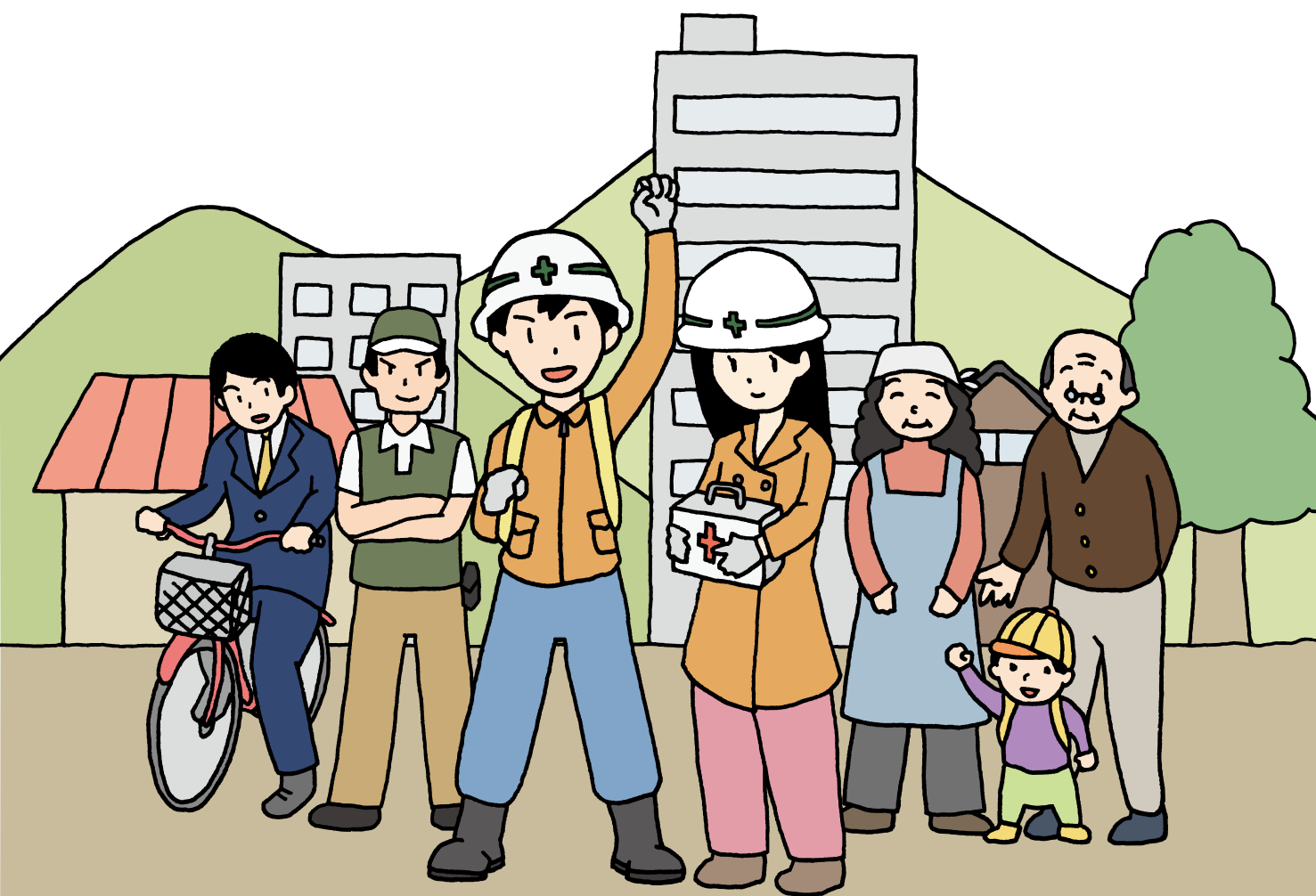


やまぐち 防災 ガイドブック



はじめに

我が国では、平成28年熊本地震以降、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨など、近年、大規模な自然災害が相次いでいます。

これら一連の災害対応を通して、かけがえのない命を守るためには、家屋やインフラ等に対する被害の軽減だけでなく、住民の適切な避難行動や、そのために必要な防災情報の提供、災害発生後の迅速な人命救助、そして災害関連死を生まないための避難所の環境改善などの重要性が改めて認識されています。

本県においても、これまでに経験した自然災害を踏まえ、自主防災組織の活性化をはじめとする自助・共助の取組を促進するとともに、河川や土砂災害防止施設等の整備を推進するなど、ハード・ソフト両面から防災・減災対策を進めています。

また、災害発生時には、直後の被災者の救助・救命、避難所や避難者への物資支援など、「公助」による対応を実施することとなります。

しかし、高齢社会の進展などから、災害時に配慮を要する方は増加傾向にあるなど、大規模災害に対して「公助」による対応だけで災害を防ぐことは困難になっています。

災害に強い県づくりを進めるにあたっては、県民一人ひとりが災害を「他人ごと」ではなく「自分ごと」として捉え、自らの命は自らが守る「自助」、地域住民で助け合う「共助」という防災意識が醸成された地域社会を構築することが大変重要になります。

皆様も、自分自身や家族、そして地域を守るため、この防災ガイドブックを参考に、いざという時に、どのように行動すれば被害を軽減できるか考え、防災への理解を深めるとともに、普段から実践いただきますようお願いいたします。

CONTENTS

I 山口県における災害 1-15

- ① 山口県の地勢等 1
- ② 山口県的主要災害 2-9
- ③ 山口県で想定される地震・津波 10-15

II 山口県の防災対策 16-24

- ① 山口県地域防災計画 16
- ② 災害予防 17-21
- ③ 災害応急対策 22-24

III 家庭や地域での防災対策 25-48

- ① 日頃からの備え 26-31
- ② 災害への対応 32-48